

臨床研究に関する公開情報

2025年 5月 12日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	網膜細動脈瘤破裂に伴う出血の性状と黄斑円孔の関係
対 象	2015年12月～2024年12月に県立尼崎総合医療センター眼科で網膜細動脈瘤破裂に対して硝子体手術を施行された患者の中で、術前に中心窩上に内境界膜下出血が存在した患者さん。
研 究 期 間	承認日から2026年12月31日までを予定しています。
研 究 目 的	網膜細動脈瘤破裂を来した症例において黄斑円孔の合併に関連する因子を明らかにすることを目的とします。
利用又は提供を開始する予定日	承認日以降に試料・情報の利用・提供を開始します。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、性別、年齢、高血圧や糖尿病の合併、抗血小板薬や抗凝固薬の内服、発症から手術までの日数、術前視力、眼軸、内境界膜下出血の性状、黄斑円孔の有無等があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個 人 情 報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 眼科 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001 研究責任者：眼科 大塚 悠生